

全国国際教育協会

グローバル教育新聞

Vol.3



写真① 南極・パラダイス湾のペンギンたち

南極から考える グローバル教育

稿の1
寄そ

地球環境を考えるきっかけに
全国国際教育協会 高橋博文



唐突ですが、南極に行ってきた。広がる大自然、ペタペタと歩きまわるペンギンたち。日本とかなり異なる環境であり、この体験はグローバル教育の教材に活用できそうだと思います。寄稿してみました。

南極の写真で

フォトランゲージ

さて、上の写真①は南極に上陸して撮影した時のものです。さて、皆さんはこの写真を見て、何か気づいたことはありますか？いくつか挙げてみて下さい。例えば・・・

- 氷山でなく岩山だ
- 寒いのかどうなのか、よくわからない
- ペンギンらしき動物がうろうろしている。
- 白熊はいないのか。



写真② 南極のパラダイス湾はペンギンのパラダイス

いろいろ感じたことはあるでしょう。写真を見て、驚いたこと、不思議に思ったこと、なんとなく感じたことなど、自分で気付いたことから、様々な理解を広げていく教育手法のひとつが「フォトランゲージ」です。



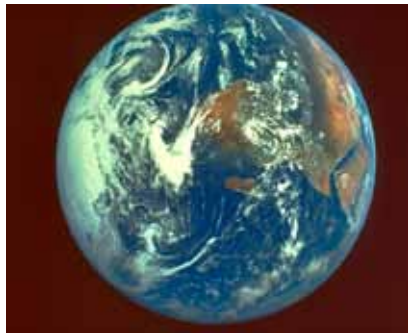
全国国際教育協会 Japan Association for Global Education (JAGE)

<http://www.kokusaiken.org/npo/>

E-MAIL webinfo@kokusaiken.org

地球の半分は夏です

写真①と②は2009年2月7日に撮影したものです。北半球の日本では冬の一番寒い時期ですが、南極は南半球なので、北半球とは逆に一番暑い夏になります。といっても、現地の気温は2度ほどで風が強く、防風ヤッケを着ていないと寒くてふるえてしまいます。



白熊はいないのか？

南極にはペンギンはいませんが、白熊はいません。白熊は北極にいます。

白熊はホッキョクグマとも呼ばれています。生態上は寒冷地でアザラシなどを食べているので南極でも生活できるとも言われています。しかし実際に白熊は



写真③ ヒゲペンギンと南極アザラシ

全くいないので、北極やアラスカから南極に渡れなかったのではないのでしょうか。海を泳げるアザラシは南極にもたくさんいました。アザラシやペンギンのほかにもクジラや海鳥などがいました。



写真④ 南極アザラシ

ペンギンの親子連れ

それでは、左の写真⑤をご覧ください。

これは写真②のペンギンたちをアップで撮影したものです。この写真を見て何か気づいたことはありませんか？

- 岩山の向こうに冰山がある
 - ペンギンの大人と子供がいる。
 - ペンギンは二足歩行している。
 - 子供のペンギンの背中に雪がくっついている。
- などなど、様々な気づいたことがあ



写真⑤ 子供ペンギンと餌を運ぶ親ペンギン

るでしょう。

この写真を撮影したのは南極半島で、チリ基地の設置されているパラダイス湾というところです。パラダイス湾にはペンギンの営巣地があり、この時期はペンギンのひなを親ペンギンが育てています。

なんでチリ基地なんだ？

なぜ南極にチリの基地があるのでしょうか。南極には日本の昭和基地もありますが、私が訪れたの



写真⑥ 南極のチリ基地と周囲をとりまくペンギンたち (建物の国旗はチリ国旗です)



全国国際教育協会 Japan Association for Global Education (JAGE)

<http://www.kokusaiken.org/npo/>

E-MAIL webinfo@kokusaiken.org



写真⑦ 日本の38倍の面積の南極大陸で暮らすペンギン

は南極の南米側だったのです。南極に最も近い国はチリとアルゼンチンです。日本の昭和基地はここから180度反対側のニュージーランド・オーストラリア側の南極大陸にあります。

南極大陸の大きさは？

ところで南極大陸の大きさはどのくらいか、御存じでしょうか。日本の面積の38倍もあるのです。

そもそも南極ってどこの国？



写真⑧ 写真⑦のペンギンの風景の拡大写真。オゾンホールはどこ？

南極地域の領土権の凍結、軍事利用の禁止、科学観測のための国際協力を目的とする南極条約が1961年に定められ、世界の47か国が条約を締結しています。そのうち28か国が、平和的・科学的調査目的等で南極に基地を設置していたりします。南極の一部の領土権を主張している国もありますが、南極条約では各国の領土権の凍結をうたっているのです。各国が協力して南極の環境を大切に守っていくことが大切です。

南極って具体的に

どこからどこまで？

私たちが一般に呼ぶ「南極」とは、南極条約に定める南緯60度以南の地域である「南極地域」と考えてよいでしょう。南極地域の中に陸地である「南極大陸」があります。南極大陸の地表や周りを氷が覆っています。

オゾンホールは見えるのか？

地球温暖化の影響を受けて、南極にはオゾンホールがあるとの話なので、どんな穴なのか見てみよう、南極の空を見てみましょう、雲がどんより広がっていて、すっぽり空いたような穴があるわけではありません。

南極の氷はとけているのか？

巨大な流氷を旅の途中でよく見かけまし



写真⑨ 船を横切る巨大な流氷



全国国際教育協会 Japan Association for Global Education (JAGE)

<http://www.kokusaiken.org/npo/>

E-MAIL webinfo@kokusaiken.org

た。船から見る流水は時として船と同様の巨大なものも流れていました。

たまたま氷山の表面が崩れて海に落ちる時の音を聞いたのですが、「ドカッ！」というものすごい轟音で巨大な流水になります。

南極大陸を覆う氷も、夏は面積が減少しますが、冬には巨大化して南極大陸の大地を覆うそうです。



さて、なんとなく南極のイメージがつかめましたか？

世界にはいろいろ目で見えないとわからないことがたくさんありますが、学校の四角い教室で勉強している子供たちは、なかなか海外に行く機会がありません。全国国際教育協会では、学校教育で世界に目を向けていけるような教材を開発していきます。

全国国際教育協会の写真素材は「グローバル教育・フォトライブラリー」として、教育に役立てたいと考えておられますので、関心ある方はE-MAIL までご連絡ください。

ODAインターネットテレビ

<http://www.apic.or.jp/plaza/tv/>



財団法人国際協力推進協会が運営している国際協力プラザWEBサイトでは、海外での国際協力の様子を映像で紹介する「ODAインターネットテレビ」が配信されています。学校でのグローバル教育に、ぜひご活用ください。



総合的な学習の時間を利用しての開発教育の実践のために、東京都国際教育研究協議会（旧名称：東京都高等学校国際教育研究協議会、すべての生徒に対応するため高等学校をとりました。）は新課程「総合的な学習」の時間に開発教育や国際理解教育を教えるために、相互理解、異文化理解、多様性、意思伝達、国際協力、自然環境等の観点から教授用展開例を満載した書籍

総合的な学習にも使える 「国際理解教育（地球学習）」

を出版いたしました。

インターネットの活用なども詳細に説明してあります。この展開例を参考にグローバル教育・開発教育を進めて頂きたいと思えます。

A5判 240ページ 1800円
 出版社 清水書院 ISBN4-389-22543-X
 〒162-0813
 東京都新宿区東五軒町1-11
 TEL03-3260-5261 FAX 03-3260-5270



全国国際教育協会 Japan Association for Global Education (JAGE)

<http://www.kokusaiken.org/npo/>

E-MAIL webinfo@kokusaiken.org